



# ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2019 vol.3

## E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

### 『第30回 ER.F.C.清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました！

明けましてどころか春もそこまで来ております。報告号が越年になってすいません。昨年の清里ミーティングも、満員御礼で予想以上の大盛況のうちに終了いたしました。本当にありがとうございました。まずは全スタッフを代表して会長のご挨拶から。(そんなわけで多くの原稿で「今年」になっているのはご容赦を)

今年も清里ミーティングはおかげさまで無事に終了いたしました。みなさん楽しんでいただけましたでしょうか？

いつも参加してくださるみなさん、お久しぶりだった方、はじめましての方も、参加してくださるみなさんあつての清里ミーティングです。本当にありがとうございます。ゲストに来てくださったのは 30 回目にしてようやくいらしていただいた山本さん、14 年ぶりにいらした斎藤さん、「え？今年も行くことになってるの？」なんて言いながら今年も来てくださった宗さん、オシノビでいらしてくださった藤原さん。こんな楽しいイベントが 30 年も続くようなクルマを生み出し、作り続けてくださっているマツダのみなさん、ありがとうございます。遠く広島から毎年いらしてくださる福田さん、福田さんちのおばちゃん、田中さん、佐竹さん、Club J58G のメンバーのみなさん。今年いちばん印象的だったのは「あれはウケたね！」と演台から田中さんに話しかける福田さんの楽しそうな顔でした。自走での参加は卒業してもまたいらしてくださいね。新横浜や羽田までならお迎えにあがります。久しぶりに来てくれた会員番号 1 番の五朗さん、こんどは娘さんの彼氏も連れてきちゃえば？それからこれを読みながら「おい、呼ばれてないぞ」って思ってるあなた。もうこれを読んでくれてないかもしれないけどずっと前に参加してくれたあなた。



そして手前味噌ながら角山家をはじめとするスタッフのみんな。そんなロードスターを楽しむ本当に多くのみなさんのサポートがあってこそ 30 年、30 回も開催することができています。ホントにありがとうございます。

10 周年のときだって、20 周年になったって、25 周年を迎えたって、何度も新型が発表されても、べつに特別じゃないよ、いつもと変わらない清里ミーティングだよ、それが E.R.F.C. だよ、ってうそぶいてやってきたのに、30 周年の今回は前の月にあったばかりの三次での 30 周年イベントの余韻が残るまわりの空気に押されてか、なんだかちょっといつもと違う雰囲気だったような気がします。今年は 30 周年だからって久しぶりに、あるいは 30 周年記念車を買ったので初めて、と言って参加してくださった方もいらしたし、そう考えると特別なのも悪くないなんて思ったりもしています。でもよく考えたらやっぱり特別なことなんて何にもしてないし、歳を取ってちょっと感傷的になっただけかもしれませんけどね。そう、30 年経ってるんですから。アタシが来るようになってからでもたしか 27、8 年です。

でもどんなに今年が特別だったからといって来年つまんなくなっちゃうのかということ…、そんなことはない(はず)。31 周年も、32 回目だって、それぞれの清里ミーティングです。これからは毎回はみなさんにとっての特別な清里ミーティングになりますように。特別なことがいつもと変わらない、そんな清里ミーティングになりますように(いままでもそうだったとしたらそんなに素敵なことはないけど)。どれだけ続けられるかはわかりませんが、ちょっとずつ続けていけますように。末永くお付き合いのほど、よろしく願いいたします。

(ひでまる)

---

## 続いては、当日の様子を。もう盛りだくさん過ぎて何を書いたらいいものやら… と言うわけで片っ端から書いていきますね。

いやあ、冒頭からなんですけど今回の清里ミーティングはもりだくさんでしたね。

1990 年開催の第 1 回から数えて 30 回目となる今回。多少は記念色が出るかもしれないと思いつつも準備段階では例によって「いつものように」ってスタンスで…の予定だったんですが。(汗)

と言うわけで、今回の清里ミーティングにご参加いただいた皆様、そして抽選に漏れたり何らかの理由によりご参加いただけなかった皆さん。皆様のご参加はもちろん、参加したいと言う思いにも支えられて ERFC 清里ミーティングは 30 回目の開催することができました。本当にありがとうございます。

さて、それではここから当日の報告。

今年も当初の募集台数を超えて抽選を勝ち抜いた(?)ホール一杯の参加者の皆様を迎えて始まった午前の部は、異例の三部構成となりました。(実はこの午前の部も講演順や時間配分等の調整が前夜ようやく決まったため、当日パンフとは流れが違っていただけです)

第一部はマツダの元デザイン本部長であり私たち ERFC も長年お世話になっている福田さんによるユーノスロードスター黎明期のお話。プロジェクト発足当初からの経緯に関わる貴重な写真や資料、そしてこの日のために用意していただい



たイラストなどを基に当時の熱気ある開発状況をご紹介いただきました。ライトウェイトスポーツ(LWS)計画を立ち上げるきっかけとなるボブ・ホールさんや二人で呼び寄せたトム侯野さんの話、またその計画を認めてくれた当時のマツダ社長 山本健一さんとの関わり、カリフォルニアにスタジオを作る時の経緯、そして有名な「サンタバーバラの冒険」でのカーチェイス(?)やその時に迎えた計画最大の危機(?!)を乗り越えた話などなど。

さらにロードスターデザインのモチーフと言われる能面「花の小面」の話をつきかけに会場内に居た福田さんの部下でもあった田中さんが我慢できず参戦！おそらくどこのロードスター本にも載っていないであろう、ジャーナリストとの能面に関するやりとりの裏話も飛び出すなど、それこそ清里でしか聞けない見られない光景が繰り広げられました。まだまだ書き足りないけれど・・・資料の多くはここだけのものと言うお約束で話もなにかとオフレコモードの内容が入り交じっていたことから、参加できた皆さんの心の中にとどめておいていただければと。(苦笑)

ところで福田さんは長年奥様と共に清里ミーティングに限らず多くのイベントに自走で参加されてこられたのですが、今回の清里への往復を締めくくりとして自走による参加を卒業しイベントへの参加をいったん休止されるとのこと。清里でも毎年お二人の共作である各種のグッズをご提供いただくなど、大変お世話になりました。会場でも皆さんと共に感謝をお伝えしましたが、ここに改めて長年のご協力に感謝するとともに次回も自走でなくてもいいですからぜひご参加いただきたく参加者・スタッフ共にお待ちしております。ありがとうございました。



さて、続いての第二部はマツダの現役スタッフによるお話。今回はまず、これまでお声がけしつづもなかなかご来場いただけず、今回待望のご参加となった元主査で現ロードスターアンバサダーである山本修弘さん。そして広島での30周年イベント後夜祭で急遽来場のお返事をいただいた現主査の斎藤茂樹さん、そして清里へは毎年お越しいただいている安定の山口宗則さんのご登壇となりました。



山本さんも清里への来場を楽しみにしてくださっていたらしく、まず着席前に軽い自己紹介から始めるつもりがそのまま独演会になりそうな勢いで、思わずストップを掛けさせていただきました(笑)。

それだけ皆さんを前にして話したいことが溢れていたということで、お呼びできた私たちもうれしい限りです。三次のイベントでRCOJの水落さんが代表して歴代主査にお送りしたロードスターオーナーからの感謝状について、その文面の作りについて、三次の会場で聞いていただけでは判らなかった話を紹介しながらべた褒めでしたね。あ、もちろんレストアサービスに関する現状についてもいろいろとお話しいただきました。



続いてお話くださった山口さんはNA発売後から現在までロードスターと関わってきた中で、NAのヒットを受けてモデルチェンジを行う御苦労をはじめとして、各世代のモデルチェンジにおけるコンセプトの継承についてどのような手法を取りながら進めてきたのかなど、手持ちの資料から即興でなどと仰ってましたがなかなか聞けない興味深いお話を伺えました。



最後にお話しいただいた斎藤さんは実は清里では二度目のご登壇。2005年に発売直後のNC開発者のおひとりとしてご来場いただき、今回はあらためて現行主査としての凱旋登壇(?)となりました。現行主査としてなかなか詳しいお話はできない中で、今はNDをマツダの持つ技術を取り入れながら近々進化させていきたい。そして現在のNDは長く作り続けていきたいとお言葉。またこれから環境等にも配慮して開発されるであろう次世代「NE」(まだ具体的にはなにも考えていないとのこと)のさらに次の世代の「NFは無い!」と言う衝撃の発言!!実はマツダにおいて「NF」って記号は既に使われてしまっているため、次はそのまま行くと・・・「NG」になってしまうそうですが、さてどうなりますことか。



そして第三部はERFC発足時の会員 No. 0001番!自動車評論家の岡崎五朗さんにご登壇いただき、ERFC事務局の角山との掛け合い漫才・・・ではなく、発足当時のERFCの思い出話から後進育成のための食育ならぬ「車育」について、さらに今後のERFC展望(?)まで話は尽きません。そんなこんなで十二分に場が温まったところで会場内に何故かたまたま偶然個人的に(!)いらっしやったマツダ株式会社取締役副社長藤原清志さんを見つけると、藤原さんもそれに応えて演台へと出てきてくださり即席のトークライブに・・・。



思い返せばなんとまあ盛りだくさんだったことか。今ここに書き連ねているだけでもお腹いっぱいです!(笑)

今回は本来ならそれぞれにもっと時間を掛けて行うべき企画を午前中という限られた時間内に鬼のように圧縮して詰め込む結果となりましたが、参加した皆さんは楽しんでいただけたでしょうか。私はあまりにも沢山のことが起こりすぎて、翌朝になってようやく実感がわいてきた次第w



私自身も30回の皆勤賞には及びませんが、第2回の開催時に誰も友人のいない中で一般参加者として参加して以来、駐車場係の手伝いからスタッフに潜り込み(?),気付けば実行委員長として19回。

参加者が増えたり減ったり、一時は幕引きも視野に入れたり紆余曲折もあった清里ミーティングも多くの皆さんのご協力により「もうちょっと続けてみよう」を繰り返してここまで続けることができました。

これからも適度にゆるく時々濃く、気張りすぎないでやっていこうと思っていますのでよろしくお願ひします。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長: まめぞう)

では、ここからはスタッフからのイベント報告のひとつふたこと。

まずは皆様のご協力により「ななめ 45° 駐車」を実行している駐車場スタッフからのごあいさつから。

---

駐車場&掛け紙担当のまえだです。

駐車場に関しては、テーマを「スムーズ&スマート」(今、考えました)と名付けて誘導させていただきましたが、牧草地の状態が今までと違っていたため、参加者の皆さんにはわかりづらくご迷惑をおかけしましたことをお詫びいたします。次回はさらなる改良を加えていきたいと考えていますので、皆様のご協力も重ねてお願いします。掛け紙については、私事が多忙(思いっきり言い訳!!)もあり作成時間を十分に確保できなかったため、よくありがちな「アニバーサリー仕様」になりました。次回の掛け紙は・・・努力します(苦笑)。また清里で会いましょう。

(前田 浩一)

---

こうしてプレスを自分で書くのは今回が初めてなのでとても緊張しており何を書こうか迷っていましたがやはり今回の振り返りしかありませんでした。自分は今年初めて駐車場係をやらせてもらいその中で感じたのはロードスターが整然と並んでいく姿にただただ感動しかない、最高、ということです。それに加えて去年に続き今年も朝からしっかり晴れていたその姿が煌々としていてより素晴らしいものになっていました。



誘導にも多々不手際があったと思いますがそれでも自分が駐車場係としての役割を全うできたのはあたたかく見守ってくださった参加者の皆様のおかげだと思っております、本当にありがとうございました。

(こた)

---

駐車場入場コントロールセンター係のおおはしです。まあそんな係は無いですが、駐車場への入場をご案内させて頂くようになってから、もう何年経つか定かではありませんが、毎年毎年テントの位置や泥濘の具合で同じようにご案内する事が出来ずにあります。今年はちょっと要領が悪かったなあと反省しきり。皆様にはご迷惑をおかけいたしました。でもきっと来年も同じ感じですよ(笑)

一台一台ご案内させていただく中で、私史上初の！レンタカーのNDをお迎えいたしました。颯爽と乗り込んでこられたのは、皆様ご存知の大企業の副社長さんでございました(驚)

毎年、関係者の方をゲストとしてお迎えしておりますが、ご自分で乗ってこられて牧草地に皆さんと一緒に並べた方は初めてじゃないでしょうか？しかも副社長っすよ？もうそれだけでちょっと嬉しくてテンションが上がったりもしましたね。

もう何年もホール内のイベントを観る事は叶わずにいるのですが、漏れ伝わってくるに今年は30周年の節目にふさわしい大盛り上がりだったようですね。羨ましい限りではございます。皆様はお楽しみいただけましたでしょうか？ジャンケンは勝ちましたか？そして私は来年もまた駐車場で旗を振ってる事でしょう。誰か代わってくれませんか？(笑)

(師匠)

---

## 「名札の意味」

毎度おなじみ「受付嬢（笑）」のつのやまです。朝の受付で、おみやげと共に皆様にお渡ししている名札ですが、あれ、名前を書く以外にもいろいろ意味があるものだとご存じでしたか？

名札についているあの派手な色のヒモ。実はスタッフはあのヒモでミーティングの参加者か、そうでないかを判断しています。なにしろ会場は有名観光地の清泉寮、一般のお客様も数多くいらっしゃいますが、そういう方がうっかり会場に迷い込んでしまわないよう、「清里ミーティング参加者のシルシ」となっているのです。（ヒモの色は年によって違います）

皆様の中には、おしゃれなカードホルダーに名札を収納される方もおられますが、できましたらヒモだけは、スタッフから見えるようにしておいて下さいませね。

おっと、そこのあなた様！「参加者かどうか、顔見ればわかるでしょ！朝、受付通ってるんだし」って？すみません、それは無理です。30回もやってますとスタッフにも高齢化の波が押し寄せ、記憶力も年々怪しく・・・なにとぞ、ご容赦を。

そして名札と言えばもう一つ、お弁当の引換券の役割もあります。引き換えの際には、毎年同じ文字の印を押していますが、そろそろ変えたい！しかし良いものがなかなか見つからない・・・。来年までになんとか探し出したいのですが、どうなりますやら。低コストで（ここ大事！）素敵なハンコをご存じでしたら、ぜひお知らせ下さいね。ちなみに今のハンコ、実は100円ショップ出身です。

（つのやまけーこ）

受付あたり担当のしのぶです。ゆるーい広島ファンですが、J58G 会長 佐竹さんとのじゃんけんに勝ち（やったー！）、田中さんのお箸をいただきました（うれしい！）。「マネージャーになった時に、福ちゃんがもう粘土けずったりするのはやめい言うから、でも、何かを作りたいから会社で箸を削っとる」とおっしゃっていた、そして、虫谷さんがその素晴らしさを熱く語られた、あのお箸です。

使い始めの日、ちょっとがんばって食事を用意し、お箸を持つと、とても軽く、驚くほどすっと自然に手に納まる。これほど真剣に、お箸を意識したのは初めてですが、これまで使ってきたどのお箸とも全く違うのです。意のままに動く、といっても利き手ですから当たり前なのですが、お箸を使っているという感覚がないのです。これがお箸との“人馬一体”なのか！と。なんて大げさな、たかがお箸でしょう？と思われるかもしれませんが、でも、良い道具、例えば、工具やペン、キーボードなど、相性の良いものはとても気持ちよく使えるし、作業効率もあがります。また、クルマやバイク、楽器などでも、自分の“相棒”になったと感じる瞬間があると思うのですが、ふとその感覚を思い出したのです。

「物を作るセンス」はこんなにシンプルな小さなものにも現れ、使う人にも伝わものなのだと改めて実感したのです。田中さん、ありがとうございます。腱鞘炎、どうぞ、お大事になさってくださいね。



（しのぶ）

---

お弁当係さっちゃんです。

今回の清里弁当はいかがでしたか？暖かい日でしたが、風があったので「ホールで食べられる方が多いかな？」と予想していましたが駐車場大にぎわいだったようですね。

お弁当の話題とは少し離れますが、今年就学前と思われるお子さんが参加されていました。座学にもちゃんと参加している彼を見てプチ感動！見回せば高齢化が進む（笑）ERFCですが、こうやって若い世代を連れてきてくださる方がいると、何とも嬉しい気持ちになるのです。やがて彼が新世代のロードスターユーザーになり、世代が受け継がれていくのかなあ、と思いを馳せる事ができる幸せ。そして、そうした小さい参加者をも違和感なく受け入れてくださっている参加者の皆様も本当にステキだな、と感じます。すっかりおばあちゃん感覚ですが、次回の清里でもそんな素敵な皆様にとびきりのお弁当を用意してお待ちしています。ではまたお会いしましょう！



(さっちゃん)

---

30年…と言っても私は3回めか4回めからの参加なのですが、30年変わらず当日のスタッフ間のコミュニケーションツールになってるのが「特小」、正式には特定小電力トランシーバという奴です。

御存知の通り清里ミーティングではメインホールと駐車場の間に少し距離があって、さらに駐車場内でもスタッフがバラけてたりしますので、分散しているスタッフに一斉に連絡をとるには欠かせないツールとなっています。

この特小トランシーバー、ヤフオクで調達したのを何台かスタッフ共有の備品として持ってたのですが、ここ数年続々とお亡くなり（故障）に…。

製造から10年以上経ってますのである意味仕方ないところもあるんですが、事前に動作チェックして持ち込んだはずなのに当日になったら駄目になってるなんてこともあり…。

…ということで、この2年ほど新たに特小トランシーバを補充しているのですが、購入の選択肢が増えて価格が随分とお手頃になってきています。

どちらかと言えばニッチな商品と思っていましたが、最近では飲食店・販売店のスタッフが使っているのをよく目にするので、意外と根強い需要に支えられているのかもしれないね。

(わだ)

---

さて、このあたりからそれぞれ30年の歴史を振り返るような話が…

### 「ロードスター30年、清里との出会いと思い出と」

ロードスター30周年の今年、ふと昔、自分が清里ミーティングに参加したきっかけを思い出すと、当時M2のコンセプトに魅かれ度々M2ビルに行っていたことも思い出します。というのも記憶では、M2から来た葉書に清里ミーティングのお誘いが書かれていたからです（多分確か93年から94年頃だったかな？）まだまだ若造だった自分、ロードスターに乗ってはいましたが通勤に使っていたのと、一人でドライブに行ったりする程度、ミーティングというものもよく解らないまま初めてエントリーし、清里を目指したのです。どこのクラブにも所属していなかった自分、当時の清里にはショップのデモカー？も来ていたり、参加者の弄られたロードスターを拝見するのがとても楽しかったり、毎年自分も何かしら目立つように車を弄ったりした記憶があります。

自然とERFCの会員となり、毎年のようにミーティングに参加、楽しむ側からいつの間にか迎える側の楽しみも覚え、今では前田さんのお手伝いで斜め45度駐車係となりました。今年は牧草地の進入路の状態が悪くご迷惑をおかけしましたが、事故なく皆さんの愛車を並べることが出来、参加者の皆さんありがとうございました。30周年を締めくくるミーティングを無事に終えてホッとしています。陰ながらこれからもミーティングを支えていければと思いますので、31年目も宜しくお願い致します。

(なみ)

---

---

## 「暮ったM2ビルでの記憶」

今回のスペシャルゲストのひとり、ERFC会員番号1番の岡崎五郎さんによる、会の発足当時のお話がありました。

会員の中でも印象深かったのは黄緑色のロードスターに乗っていたS氏とのこと。

今は某外車のマーケティング部長になっているようですが、1992年のマツダの横浜R&Dセンターでの会合からスタッフになった私にとっても「けろっぴ号」と言われていたそのロードスターとともにインパクトの強い人のひとりでした。

何年か経過した、ある年のある時、私たちは、環八通りの世田谷公園近くのM2ビルにいた・・・隈研吾による異文化ミックスされた奇抜なデザインとは裏腹に、内部はとても居心地が良く、会議に使わせてもらったのです。

当時のERFCスタッフは毎週のように都内小石川の某所で夜のミーティングを行っていたほか、春には総会を行い、役員改選や年度の活動方針と内容決定を普通の会社のように真面目にやっていました。私たちもまだ若く、開催費用の問題やスタッフの私的事情による人手不足など決して満足できていなかった清里ミーティングの運営や内容について熱い議論を交したのです。

そこで当時のERFC会長のそのS氏からの発言

「清里は切りのいい回数で終わりにしたいと思っている。それが俺の考える美学・・・」

一瞬、他のスタッフは皆、顔をしかめた（気がした）。

その後、どういう経緯でそれがそうならず、現在まで継続していったのか、全てを思い出せないが、できることを無理しないでやるのがERFCのスタイルとして、熱くなりすぎない、ゆるい集まりとしてやってきたのが良かったのかもしれない。

これからも、キリとかカタチにはこだわり過ぎずにやっていけたらとの思いを抱いた第30回清里ミーティングでした。

(No. 473 片貝)

---

電話口に響く勢いある声に呼び出されて、神保町にあった二玄社の会議室に向かったのは、今から30年くらい前か。

そこには、それまでの人生では出会ったことない人ばかりがたくさん集まっていた。その後何度となく足を運んだけれど、足を踏み入れる度に、何とも居住まいの悪いというか、落ち着かない気分を味わったものだ。それこそ生まれて初めて出版社なんてところに行き、編集者とかライターとかいう人の話を聞き、ギョーカイ人なる人と話し、その都度驚き、戸惑い、ちょっとだけ上気して・・・つまり振り回されていたのだろう。バブルがはじける前の話だ。ちなみに編集長なる人は、後にも先にも一度ちらっと見かけただけ。

ホントにいろんな人が集まり、語り、そして居なくなり、また誰かが加わり、そうやって最初からいくつかの清里ミーティングが過ぎた。

やがて大量の郵便物が「二玄社」と書かれた封筒に詰め込まれて我が家に届くようになり、いつしか二玄社に呼ばれなくなり、我が家の住所が事務局になった。その経緯はもはや記憶の彼方だが、私と妻が事務担当を任されたことあたりが理由なんだろう。でも今から思えば、他の皆が悉く独身者だったことも理由の一つなのかもしれない。今や皆家族持ちだ（一部除く）。時が流れるってそういうことなのだろう。

そのうち編集の人が清里に来なくなり、NAVI 巻末のイベント告知にミーティングのお知らせがなくなり（すなわち集客に困るようになり）、そうしてNAVIも休刊になった。クラブの名称から「by NAVI」の文字を外した。「清里ミーティングもフェイドアウトするのかもね」「人が減ったらお泊りミーティングにしても楽しいね」なんて話したのもこの頃か。

いろんなことがあった。だって30年だよ、そりゃあそうだ。だから、いろんな人が通り過ぎて行った。



怪人サカモトマサル氏は数年前に鬼籍に入られたそうだ。この人がいろんな人を清里に引き寄せたと言っている。そもそも清泉寮を会場に定めたのも彼のはずだ。あのロケーションでやってなかったら、言うまでもないか。未だあんな人には出会ったことが無い。きっとこれからもない。

岡小百合さんは相変わらずきれいな人だ。車をめぐる面白い文章書いている。彼女が作ってくれたクラブの口座は今もそのまま使ってる。

千疋屋の次男は元気だろうか？電通のマーケッターは今欧州車売ってるらしい。さすがに500Eとケロッピー号はもう持ってないのかな。JRAの彼は今もJRAに居るのだろうか。京王の彼はまだ京王に居たら今頃助役くらいにはなってるか。地下鉄の人は今も元気だね。彼と一緒に食い込んできた男が今や実行委員長だ。輸入車屋さんは今も輸入車売ってるのかな。いつの間に輸入車売ようになった人もいるね。新聞屋は元気なんだろうか。札幌住まいの元会長は元気ですか？

渋谷さんは「今どうなさってますか？」っていろんな人から聞かれる。流石。彼は毎年必ず「今年は行きたい」って言うけど、きっと多分来ない、ってみんな思ってるからね。ふふふ。

久しぶりに清里に足を運んでくれた、今や日本を代表する自動車評論家の一人の岡崎五朗さん。社会人なり立ての頃から印象が変わらない。結婚披露パーティーに呼んでもらって、その時初めて「生」徳大寺有恒氏にお会いした。前から見ても横から見ても同じサイズで・・・あいや、素敵なおじさまだった。五朗さんは家族ができてからも清里に来てくれて、NBデザイナーの林さんと登壇してくれたり。



第9回(1998年)のことでした。

ホントにたくさん来て下さったマツダからのゲスト(今後よろしくお願ひいたします)は、大概広島から遠路はるばる来てくださる。三次に自走で3回行ったけど、広島はわりと遠い。ありがたいことです。

広島からといえば、福田さんは、毎年の様にご夫婦で、時には車中泊までしながら自走で来て下さった。頭が上がらないし、理想だよ、ロドスタ乗りの夫婦として。

最近では田中さんが不思議なくらいよく来てくださる。そして田中さんがいる横には、必ず私設マネージャー(笑)の佐竹さんがいる。

CLUB J58G HIROSHIMA 会長の佐竹さんも、怪人サカモトマサルが引き合わせてくれた一人。最初はあんまりしゃべらなかつた。どこか近寄り難くて、言葉もおっかないし(偏見)・・・でもいつの間にか清里に居ないことが想像できないくらい大切な人になった。何度も助けてもらった。この佐竹さんと私たち夫婦だけ、30回全部参加した、らしい。佐竹さんありがとう。

でも私たちは「参加した」とはちょっと言い難い。イベント見てないし、ホールに居ない時間の方が全然長いし、うーん、やっぱり「居た」が似つかわしいと思う。だから30回参加してるのは、佐竹さんだけ、か。(それはそれでなんか悔しい。)

よく言うのだけど、「一度でいいから清里ミーティング、全部見てみたいよね」って。その時は、誰かじゃんけんやってください。(マジで)

大変だったのかもしれないけれど、過ぎてしまえば・・・だし、そもそもあんまり難しいこと考えずに、ただ続けてきた、それだけ。だからいつまで続くかなんて、わからないし考えない。一事務担当として、そう思う秋の夕暮れ、いやもう寒い冬か。

皆さん風邪ひかない様に。またどこかでお会いしましょう。そして、ありがとうございます。

(つのやま)

以上、スタッフのあれこれでした。

**続いては毎年清里に参加してくれる丸尾さんから、お便りをいただきましたので承諾いただいた上でここに紹介。清里の帰路ではいろいろあったそうで・・・**

お待たせしました。今年も笑ってやってください。(^^)

今回の清里ミーティングは、RS30周年の直後でへこたれて参加意欲がなくなるんじゃないこと思いながら、参加表明をしました。

実際は30周年から帰って、さらにRSで走りたくなっていました。

清里は晴天で私を迎えてくれ、ジャンケン大王は私に村度して福田さんのクッションを与えてくれたのです！

助手席にジャンケン大王からゲットしたソフトクリームを食べ終えたTくんを乗せ、後泊地の下諏訪温泉に向かいます。常宿になった「御宿まるや」さんに着き、早速一風呂浴びてビールの美味しいこと、

秋のきのこ三昧のお料理でお腹ばんぱんで眠りにつきました。

「まるや」さんは諏訪大社秋宮のすぐ脇にあります。朝風呂を浴びて朝食後大社にお参りに行きます。「無事に帰れますように・・・」

さて諏訪湖のリンゴ園を予約してもらって、いざ出発です。

イグニッションキーを回すと、小さく「コッ」と鳴って終わりました。メーターパネルの表示も真っ暗です。

ここから悪魔のような帰路が始まりました。

「まるや」さんの前は、なだらかな下り坂でTくんが押してくれるって言うもんだから、押しもらったけど坂道が終わる方が早かったです。(^^;

心配した「まるや」さんの若旦那のレヴォーグから電気もらって再始動。予約してもらったリンゴ園でエンジン止めずにリンゴ狩りをしました。このリンゴは贈答用でとても美味しいんです。

このころから広島でも出たアイドリングの不安定（ハンチング）がひどくなってきました。500～1500回転くらいを行ったり来たりしています。回転が下がるとカーナビがOFFになります。バッテリーが完全にダメです！

ちょっと三島まで帰るのが怖くなってきました。←今頃かよ

とりあえず近くのマツダディーラーに駆け込みバッテリーを調達、、、「入荷は明日になります。県内には在庫は無いですねえ～」という当たり前の答え。しかし優しいディーラーさんは、すぐ近くのオートボックスを教えてくださいました。

オートボックスのオニイサンは純正以外のバッテリーは装着できないの一点張り！

ほんじゃあこのまま三島まで帰ってやろうじゃないかと走り出して10mでエンジンストップ！バッテリーダメだし、路上でハザードもつかないし、、ここでTくんがオートボックスに歩いて行って事情を説明します。私はトランク開けて交通整理です。

またまた路上で電気もらって再始動し、再びオートボックスのピットへ。

オートボックスのオニイサンも私の悲惨な表情に負けて、汎用バッテリーをトランクに積みコードで繋ぐ作業をしてくれました。汎用バッテリーが転がらないように福田さんのクッションが活躍しました。福田さんありがとう。

これで前日までの絶好調のバッテリーになりましたが、ハンチングはさらにひどくなってきました。自宅に設定したカーナビがエンジン回転が下がると電源 OFF になっちゃうし、もっとひどければエンストです。

それでもアイドリングじゃない高速走行は調子よく普通に走って河口湖で給油して三島を目指します。

笹坂トンネルを抜けたあたりから雨が降り出し、暗くなるし室内が曇るのでエアコン付けるし、ワイパー使うし、、、

いやな予感通り土砂降りて稲光の中、交差点でエンジンストップ。まあバッテリーはあるので再始動できましたが、怖かったです。

何とか家にたどり着きました。

その後は RS の修理ですが、ハンチングがひどいのと排気ガスに黒いしぶき？が混ざって飛んでくる???

自走するのは無理だろうとの判断で、先程マルハモータースの積載車に乗せました。

我が家に来て 30 年。初めての積載車です。

頑張っ来ていよ！



イメージであり  
本件とは関係ありません！  
そう。本件とはね・・・

### 以上が第一報でした。

### そして半月後・・・

丸尾からのご報告、続編です。

11 月 26 日の晩に、積載車に乗せられ旅立った我が NA ですが、昨日マルハさんから「治りました」の連絡がありました。

早速今朝引き取りに新幹線に飛び乗りました。神経痛のためヨチヨチ歩いてですが、、

お天気も良く富士山も絵はがきのような美しさです。静岡駅から静鉄バス（ハイブリッドでした）に乗り賤機中小学校前（しずはたなかしょうがっこうまえ）で降りヨチヨチで徒歩 2 分のところにマルハはあります。今日はマルハは定休日なので工場前に NA は放置されています。懐かしい我が NA を愛でながらエンジンスタート！

おお、安定してます。排ガスが臭くないです。ガラスをタオルで拭きながら暖機運転します。おお、排ガスが臭くないです。治ったんだから当たり前ですね。

早速ガソリンを入れて、新東名に入ります。おお、いつもの NA だ！←当たり前(^\_^)

というわけで、どこが悪かったのでしょうか？、、じゃなくて話せば長くなるのですが、、

私の NA は遙か昔にカムシャフトを変えてあってそれに伴いコンピューターに ROM チューニングをしてもらっています。今回その ROM チューンの追加基板がダメになったとのことでした。

ねっ！私は悪くないでしょう。(^^)

久しぶりに乗ったロードスターは、やっぱり楽しい車です。ハンチングもしないし、可愛いやつです。

家に着いて早速、清里の垢を落としてあげました。お祓いもしてあげたいくらいです。(^^)

以上、続編でした。

(まるお@三島)

## 『編集後記』

まずは報告号の発行が遅れてしまい申し訳ありません。すっかり年も明けてしまったところか、春の足音が・・・と書きたいところですが、これを書いている今は連日新型コロナウイルスのニュースが世間を騒がせている最中で季節感がどうのこうのなんて感じじゃないですね。

さて、そんな中ではありますが、あらためて振り返ってみれば（個人的には最近安易に使われすぎるくらいもありあまり好きな言い回しではないのですが）さすがに今回の清里は『神回』と言って差し支えないほどの奇跡的な回だったと思います。

まず、先に書いたようにイベントの本編はゲストも盛りだくさんで主催者の当初の思惑をはるかに超えた濃い内容となりましたが、午後になってもその流れは収まることはありませんでした。

恒例のじゃんけん大会ですが、ここで前述の田中さんが景品として出してくださったのがなんとお手製の箸！これが3年かけて乾燥させた竹を材料に、火縄銃に使われた鋼から作ったナイフで一本一本（腱鞘炎になるほどに！）削ったという貴重な品！さらにその形状にもこだわりがあり、手にした時の馴染みやバランス具合が計算されつくしているという逸品！その素晴らしさはマツダの現役トップドライバーが手にした時に鳥肌が立ったと証言するほど。さらにステージ前に出て説明に立ってくれた姿はテレビショッピングや実演販売も斯くやあらんと言う熱の入れ様で、一部では車を語るとき以上に熱く語っていたのではないかと噂されております(笑)。勝ち取った皆さん、ちゃんと使っていますか？もったいないなんて言ってしまい込んでいます、もっともったいないですよ。



さらに勝ち取ったと言えばこの箸の争奪戦ではじゃんけん大王こと角山さんに代わって広島のじゃけん・・・いや、じゃんけん魔王(?)こと J58G HIROSHIMA の佐竹会長が降臨。その結果、30 回目の清里にして初めてじゃんけん大王がじゃんけん商品で商品という快挙が達成されました！（爆）※じゃんけん自体は 30 年続いているわけではありませんけどね。



さらにさらに、一番盛り上がったのが地元からの参加者が提供してくれた「とある飲み物」の争奪戦での出来事。勝ち残りの人数が減るごとに会場に一部からのざわめきが徐々に大きくなり、その視線の先には勝ち残っている田中さんの姿が！（笑）さらに勝ち進むごとに見守る皆さんのテンションも上がりいつのまにか会場全体が田中さん応援モードに！そして決勝もまさかの勝ち抜きで無邪気に喜ぶ田中さん！そして会場は割れんばかりの祝福の拍手と歓声につつまれました！！この日一番、いや、記憶にある限り過去 30 回の清里ミーティングでこれほど会場全体に一体感が流れた瞬間は無かった気がします。・・・って、何だったんでしょうね、あの盛り上がりは。（苦笑）

そんなわけで会長も書いているように、今回もいつも通りのはずが全体を通して次回が心配になるほどに盛り上がってしまいました、今年の清里だってきっと面白くなることでしょう。もちろん例によってまだ何も決まっていませんけどね。

ところで私、秋に 30 周年イベント参加に合わせて新品にしたばかりのバンパーを含むいくつかのパーツを年末から年始にかけて、とある理由(!)で再度新品に交換することになってしまいました。納車から 30 年を過ぎてなお今回は欠品パーツも無く、無事に原状復帰できたのはレストアサービスでパーツの復刻を行ってくれているからだとあらためてマツダとパーツ復刻に携わった各位に感謝！特にノーマルアルミなんて、普通は新品パーツとして出てきませんからね。あ、復刻ラベルセットも！

さあ、今年は昨年ロードスター 30 周年イベントと同様にマツダの 100 周年イベントもあるんじゃないかと思うし、開催時期によってはまた忙しくなりそうです。

そんなわけで次回もよろしくお願ひします。またぜひ清里でお会いしましょう。

(E. R. F. C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当 No. 529 : まめぞう)



**ERFC Newsletter**  
ユー/スロードスターファンクラブ通信  
2019 vol. 3 2020年3月吉日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局：埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方  
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp